

1 「認知症ケアパス」とは

認知症は誰でも関わる可能性のある身近なものです

認知症は、さまざまな原因で脳の働きが悪くなって記憶力や判断力などが低下し、日常生活に支障がでる状態で、高齢になるほど発症する可能性が高まるものと言えます。

高齢化が進む我が国の認知症高齢者の数は、2025年には約700万人、65歳以上の高齢者の約5人に1人に達することが見込まれており、今や認知症は誰でも関わる可能性のある身近なものです。

「認知症ケアパス」は、認知症の症状に応じて、認知症の人やその家族ができる限り住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように、本人の状況に合わせてどのような医療や介護サービスなどを受ければよいかを示したものです。

「認知症が気になった時に役立つ手引き」は、那須地区の二市一町と関係機関が共同で作成しました。取り組みについての詳しい内容は、それぞれの市町にお問い合わせください。(10 ページ参照)

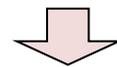
2 「老化によるもの忘れ」と「認知症によるもの忘れ」は異なります

老化によるもの忘れ

- ・ 体験の一部を忘れる
- ・ 忘れたことを自覚している
- ・ ヒントがあれば思い出せる

認知症によるもの忘れ

- ・ 体験そのものを忘れる
- ・ 忘れたことを自覚できない
- ・ ヒントがあっても思い出せない



認知症は 脳の病気 によって引き起こされます

認知症は、いろいろな原因で脳の細胞が損傷を受けたり、働きが悪くなったりすることで、記憶・判断・認知する力が低下し、生活に支障をきたしている状態を指します。